



2027年国際園芸博覧会
公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク

令和8年7月21日
国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所

災害対策用機器操作講習会の開催

～「国」「自治体」「民間企業」の三者合同での操作講習会を実施～

常陸河川国道事務所は、地震や洪水などによる災害発生時に迅速な復旧活動を行うため、排水ポンプ車などの災害対策用機器を配備しています。これらの機器は、各自治体からの要請により貸付も可能です。また、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として、令和元年10月に発生した東日本台風、令和6年1月の能登半島地震等で活動しています。

このため、実際に機器を操作することが想定される関係自治体や災害協定を締結している建設会社を対象として、操作講習会を実施することと致しましたのでお知らせします。

開催日：令和8年7月23日（木）10:00～12:00、13:30～15:30
令和8年7月24日（金）10:00～12:00、13:30～15:30
両日とも午前の部、午後の部に分けて開催します。
雨天決行ですが、荒天時や災害対応などやむを得ない理由により、中止となる場合があります。

会場：茨城県東茨城郡茨城町長岡地先（別紙1の案内図参照）

対象機器：排水ポンプ車、照明車、Ku-SAT II（ケーユーサットツー）（別紙2参照）

取材について

講習の取材は可能です。取材にあたっては取材申込書（別紙3参照）にて事前に申し込みをお願いします。会場内では貴社の腕章などを着用してください。自動車は、講習会場内に駐車可能です。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ

<問い合わせ先>

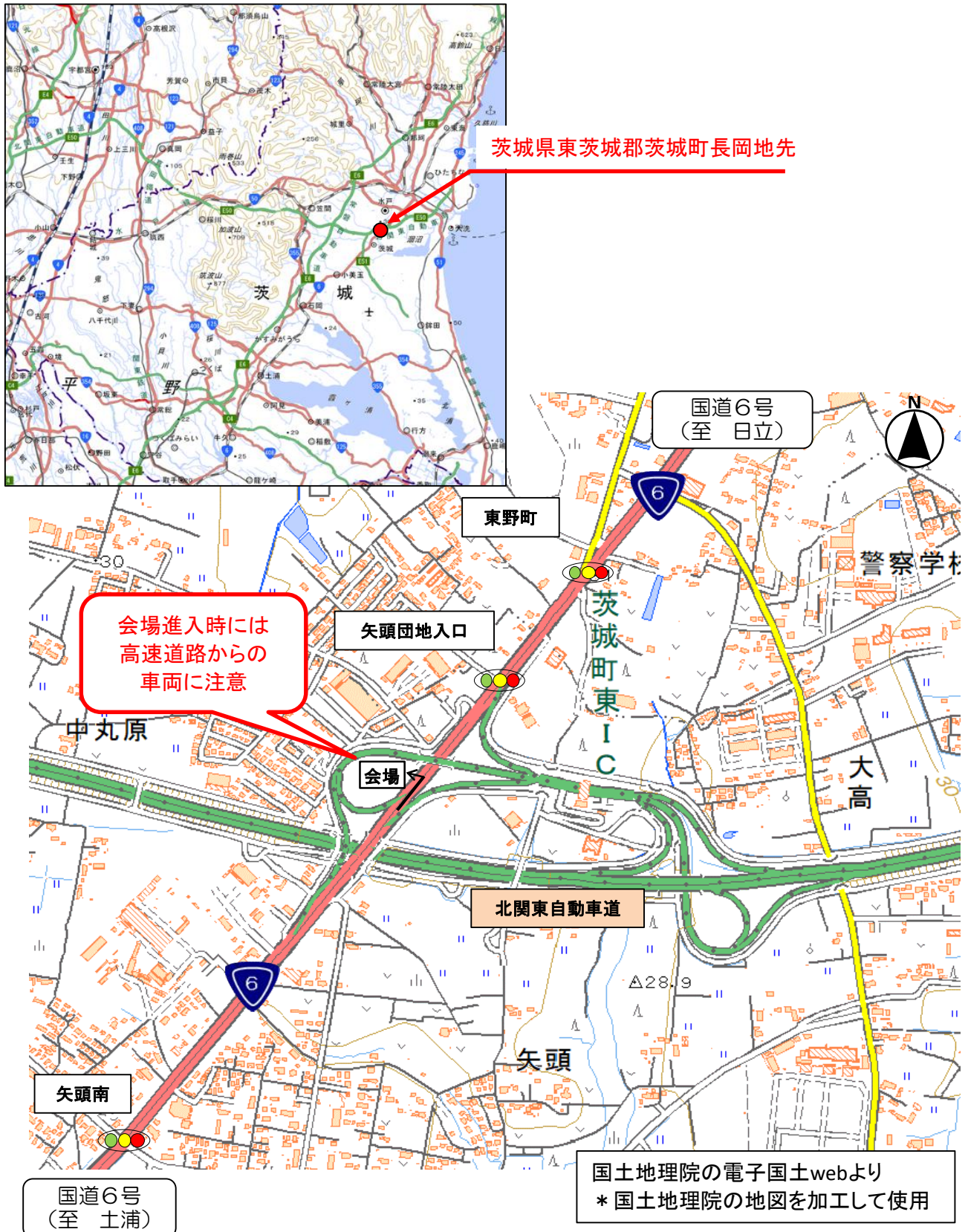
関東地方整備局 常陸河川国道事務所

電話：029-240-4061（代表） E-mail: ktr-hitachi-bousaika@ki.mlit.go.jp

副所長 日高（ひたか）（内線：204）

防災課長 堀米（ほりこめ）（内線：281）

令和8年度 災害対策用機器操作講習会 会場案内図



- ※講習会場は、国道6号沿いになります。
 ※国道6号下り車線(土浦方面から日立方面へ向かう車線側)からしか入れません。
 ※インターチェンジ付近のため高速道路を降りてくる車に十分注意して下さい。

災害対策用機器操作講習

1. 対象機器及び操作講習内容

○対象機器

・排水ポンプ車

浸水地域の水を河川等に排水するための車両です。

車両、排水ポンプの設置及び撤去、排水運転などを講習会にて実施します。

・照明車

夜間作業を行うための照明を備えた車両です。

車両の設置及び撤去、ブームの操作、照明の点灯などを講習会にて実施します。

・Ku-SAT II

災害時にリアルタイムで被災状況映像の伝送を行う機器です。

機器の概要及び使用方法について説明を実施します。

訓練状況(R7年度)

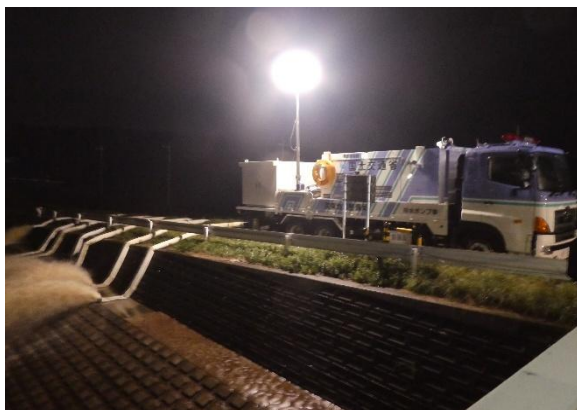


排水ポンプ車 ポンプ設置訓練



照明車 操作訓練

過去の派遣状況



排水ポンプ車(東日本台風)



照明車(能登半島地震)

排水ポンプ車 $60\text{m}^3/\text{min}$ 大型 6人 60分 人力

高い排水能力で甚大な水害に対応

大雨等の災害時において、大容量の排水が可能な排水ポンプ車です。

【機能】

- ・毎分 60m^3 の排水が可能($7.5\text{m}^3/\text{min} \times 8$ 台、全揚程 10m) ※ 25m プールを約5分で排水可能
- ・排水距離は最大 50m
- ・作業用照明設備は、 $1\text{kW} \times 1$ (可搬型パルーン照明)、 $500\text{W} \times 2$ (ハロゲン灯)
- ・ポンプ単体質量 $37\text{kg}/\text{台}$

●使用現場での諸条件

- ①進入路は、幅 3.5m 程度必要です。(車両幅 2.5m)
- ②作業エリアは、幅 $4.5\text{m} \times$ 長さ 25m 程度必要です。
- ③設置作業にかかる時間は6名で約60分程度
- ④水深 1.0m 以上でないと運転できない。

〔運用諸元〕運転免許：大型自動車

〔装備品〕発電機： 300kVA



照明車 ブーム式 準中型 8t限定 1人 10分 人力

夜間作業を強力にサポート

災害時において、夜間作業時の照明及び電源供給を行います。

【機能】

- ・ $1.2\text{kW} \times 6$ 灯(LED灯)の照明を装備
- ・ 13kVA の電源供給が可能(照明不使用時)
- ・照明は地上 20m まで上昇可能
- ・照明車から 50m 離れたところでも 100 ルクスの明るさを確保可能(街灯下の明るさ程度)
- ・ブームは 360° 旋回可能

●使用現場での諸条件

- ①進入路は、幅 3.0m 程度必要です。(車両幅 2.2m)
- ②作業エリアは、幅 $6\text{m} \times$ 長さ 9m 程度必要です。
※アウトリガーの伸出に注意が必要。
- ③設置作業にかかる時間は1名で約10分程度

〔運用諸元〕運転免許：準中型自動車(8t限定可)

〔装備品〕発電機：発電機 13kVA



Ku-SAT II (衛星小型画像伝送装置)



災害時にリアルタイムで被災状況映像を伝送します。

【機能】

小型軽量で機動性に優れ、いつでもどこからでも通信が可能である為、主に災害初動時に使用します。通信衛星を使用し、画像と音声の伝送が可能となります。

取材の申し込み

災害対策用機器操作講習会（河川系）

取材申込書

1. 貴社名 _____

（ふりがな） _____

2. 氏名 _____

（ふりがな） _____

3. 連絡先

電話番号 _____

FAX番号 _____

4. 取材希望日時（どちらかに○）

7月23日（午前） 7月24日（午前）

【申込先】

国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所 防災課長 堀米 行

E-mail : ktr-hitachi-bousaika@ki.mlit.go.jp

取材希望の方は、令和8年7月22日（水）15時までに、上記宛先までご連絡いただきますようお願いいたします。

※送信後、お手数ですが受信確認の連絡（TEL 029-240-4074）をお願いします。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

○事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。

○手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。

○以下の症状がある方の入場はご遠慮いただきます。また、会場でのマスク着用は個人の判断でお願いします。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱がある方

・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方

・その他、ご自身の体調に不安がある方